

新しい年 区民の願い実現へ全力



日本共産党

大田区議団

ニュース

日本共産党大田区議団
大田区蒲田5-13-14
Tel 03-5744-1477
FAX 03-3730-3447



広範な共同で3つの安心のゼロを実現を。

国民との公約を裏切る民主党菅政権の下で、経済が一層悪化し、前年度に比べ区民収入は平均約20万円の大減となつていきます。さらに税金・医療や社会保険料の負担増で、国保・介護・住民税等の滞納者が増え続けています。

しかし、松原区長と自・公・民オール与党は、羽田空港再国際化を口実に、ため込んだ基金で蒲田・大森駅周辺再開発、京急蒲田・糍谷・雑色駅前再開発、「蒲蒲線」促進、空港跡地と周辺開発等の開発優先の区政をすすめようとしています。

そうした中でも、日本共産党区議団と区民との共同の取組みで、認可保育園増設など、多くの区民要求を実現してきました。また、オール与党は議会での党区議団の役職を取り上げましたが、議員の海外視察中止などの議会改革を実現してきました。

二〇一一年も、広範な区民との共同を強め3つのゼロ・3つの安心の実現をめざし、議会内外で取り組みます。

日本共産党の躍進で「くらし・営業優先の区政か」、オール与党が進める「大型開発優先の区政か」が、激しく争われる年になります。日本共産党区議団は区民アンケートや住民目線の立場で区民の願いに応える決意です。

3つのゼロ

- ①75歳以上の医療費ゼロ
- ②保育園待機児ゼロ
- ③特別養護老人ホーム待機者ゼロ

3つの安心

- ①若者の雇用拡大
- ②お産難民解消
- ③公営住宅・高齢者住宅確保

みなさんとの共同で 実現しました

- ・認可保育園建設(計画含め10園以上)
- ・モノづくり直接支援事業(第2弾)
- ・プレミアム付き商品券発行(第3弾)
- ・お産ができる病院(区の助成)
- ・新型インフルエンザ接種補助
- ・議員の海外視察3年連続中止

区政とくらしの相談はお気軽に

<p>佐藤伸</p> <p>大田区大森北5-5-5 電話 三九八-六三六二</p>	<p>清水菊美</p> <p>大田区東糍谷1-13-2-501 電話 三三四-五八三七</p>	<p>菅谷郁恵</p> <p>大田区大森西5-6-11 電話 三三六-八五八四</p>	<p>和田正子</p> <p>大田区多摩川2-24-62-2-209 電話 三三五-九一六五七九</p>	<p>金子悦子</p> <p>大田区西六郷2-16-2 電話 五七一-一〇三五〇</p>	<p>大竹辰治</p> <p>大田区東矢口3-11-19 電話 三三六-一四二〇二</p>	<p>藤原幸雄</p> <p>大田区西糍谷4-21-17 電話 三三二-二九三六</p>
--	--	--	---	---	--	---

法律相談のご案内

区議団顧問弁護士による、法律相談です。お気軽にご利用ください。

1月20日(木) 午後1時より
2月 3日(木) 午後1時より

場所 日本共産党大田区議団控室
(大田区役所10階) Tel.5744-1477

◎予約制です。お早めにお電話下さい。

子育て・高齢者・中小企業支援等 一五三項目の予算要望を提出



書」を松原区長に提出しました。

松原区長は税込減を理由に5%のマイナス・シーリング(削減)の予算編成を進めていますが、中小企業・町工場への固定費補助などの直接支援、青年の雇用拡大、産科・小児科の充実、特養ホームの増設、認可保育園の増設、30人学級の実施、新空港線(蒲蒲線)の白紙撤回など重点28項目、新規18項目を含む計153項目を提案しました。

ものづくり直接支援第2弾実施 補正予算で実現

第4回定例会で予算は29億円余増額となりました。そのうち、補正予算全体の約7割に当たる19億円余が生活保護世帯及び人員増の生活保護費で、区内の景況悪化を色濃く反映しました。

今回の補正予算には1歳から13歳未満を対象とした新型インフルエンザ予防接種費用の

助成、区内産業支援のために緊急経済対策として31事業・5億円余が組まれました。内容は区民施設、道路など区民施設・公共施設や備品等の補修・改修工事の前倒しに4億円余、区内の製造業・町工場への直接支援を行うモノづくり経営革新緊急助成制度第2弾に5500万円等となつ

ています。

モノづくり経営革新緊急助成の再実施は、党区議団としても繰り返しその実施を求めてきたもので、一年前の第4回定例会で補正予算で提案され、今年

党区議団が他会派に呼びかけ 高齢者医療費窓口半額助成提案

今定例会に党区議団は、75歳以上の医療費の窓口負担を半額助成する条例を、党区議団7名と他会派1名との8名で共同提案しました。

委員会では、「所得制限はしないのか」「過剰に受診することにならないか」等意見が出され、党区議団は「助成によつて、早期治療ができ、重症化しないので医療費総額が少

春にスタート、今回は二回目です。区内中小企業・業者に、一筋の希望の光となった事業で、廃業を考えていた経営者がこの助成を受け大きな成果をあげています。



蒲田西口街頭相談会(派遣村) (12月16日)

リフォーム助成陳情は継続審査

東京土建組合大田支部から第4回定例会

に「住宅(店舗)リフォーム助成事業の創設を求

める陳情」が出されました。リフォーム助成制度は全国175自治体(11月現在)で実施され、自治体によっては予算の30倍以上の経済効果が上がると喜ばれています。大田区は「個人の資産形成につながる」と実施を拒み、

委員会では、共産・民主・ネットは採択を求めましたが、自民、公明は継続を主張し、採択されず継続審査となりました。

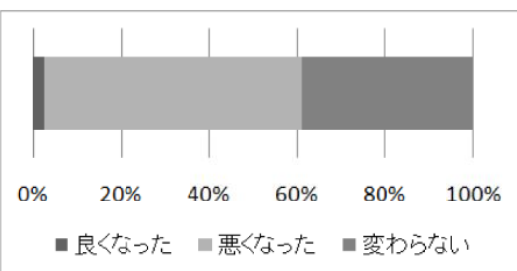
出された「すべての子どもたちがすこやかにそだつ大田区をめざす請願」にも、「区が区立区営の保育園の増設の考えはないと言っている」と、自民・公明・民主が反対し不採択になりました。

区民アンケートにご協力ありがとうございました。(中間報告)

区議団が10月から実施している区民アンケートには、これまで一七〇〇名を超える方から回答が寄せられました。中間集計結果をご紹介します(集計率約81%)。

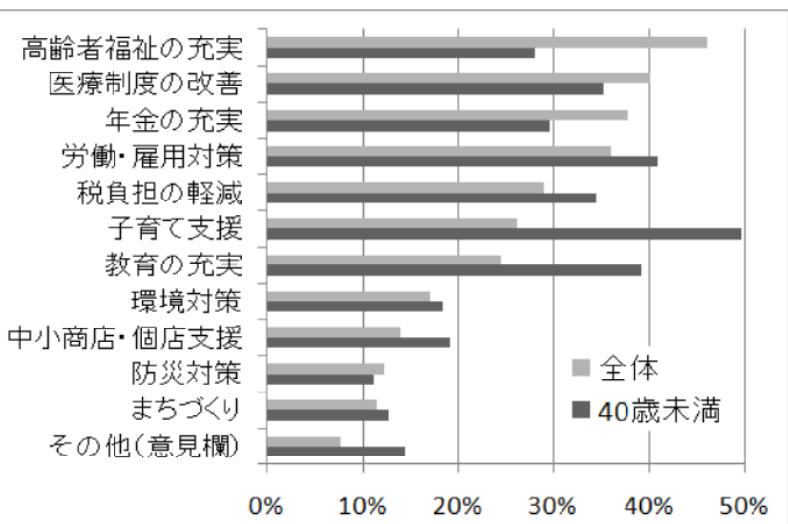
政治に望むことについて

政治に望むことについては、高齢者福祉の充実、医療制度の改善、年金の充実が上位となりました。40歳未満では、子育て支援、雇用・労働対策、税負担の軽減を求める声が多



良くなった 2%
悪くなった 59%
変わらない 39%

政治に望むことについては、高齢者福祉の充実、医療制度の改善、年金の充実が上位となりました。40歳未満では、子育て支援、雇用・労働対策、税負担の軽減を求める声が多



高齢者福祉の充実
医療制度の改善
年金の充実
労働・雇用対策
税負担の軽減
子育て支援
教育の充実
環境対策
中小商店・個店支援
防災対策
まちづくり
その他(意見欄)